

# 栗原市地震防災マップ

## 揺れやすさマップ 高清水・瀬峰地区

### 長町—利府線断層帯の地震の場合

○この揺れやすさマップは、活断層の地震である長町—利府断層の地震を想定した場合の震度分布を、100メートルメッシュ毎に表示しています。

○長町—利府断層は、仙台市から利府町にかけて、ほぼ南北に延びる長さ約40kmの活断層です。約3000年に一度程度の割合で繰り返し地震を起こし、前回の地震は約2000年前ではなかったかといわれています。マグニチュード 7.1の地震を想定しています。

○なお、ここに示した震度は、地震の規模や震源の距離から予想される平均的な揺れの強さです。地震の発生の仕方によっては、揺れはこれより強くなったり、弱くなったりすることがあります。

#### ■マップの作成手順

このマップの作成にあたっては、おおよそ次のような手順で、震度(揺れの大きさ)を予測しています。

○地域に影響の大きいと考えられる地震(活断層帯の地震(長町—利府断層帯による地震)、海溝型地震(宮城県沖地震(津波型、津動型)、どこでも起こる可能性のある地震)を選び、当該とる断層の規模や位置、形状などの情報を整理します。

○それぞれの地震について、地震の規模や震源となる断層までの距離などにより揺れの強さが変わる係数を用いて、「地表面付近(地下の基礎)での揺れの大きさ」を計算します。

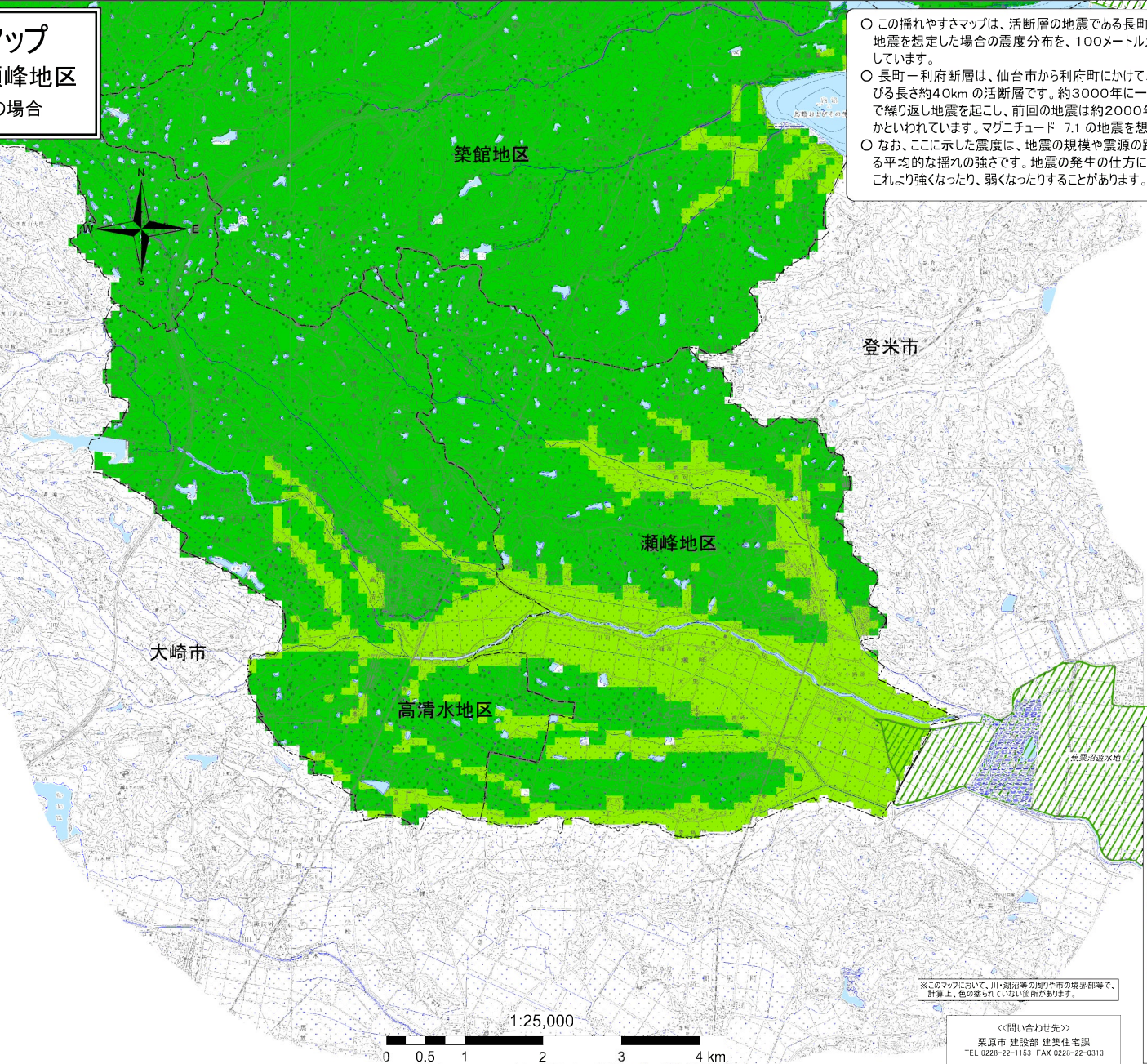
○体に感じる「地表での揺れの大きさ(震度)」は、「地表面付近での揺れの大きさ」に「震元(震源の位置)揺れやすさ」を加味することで求めることができます。一般に、震元の位置が浅いほど揺れやすさが増加し、震元が深いほど揺れやすさが減少します。このマップでは、全域を100mメッシュに分割し、メッシュごとに地表での震度を詳細に求め、表示しています。

#### ■震度の大きさ=震度とはなにか?

地震が起きたとき、ある場所での揺れの程度を表すのが震度です。気象庁では、震度計の観測結果に基づいて震度を算出しています。震度は、気象庁の震度計で観測された震度(震度計)を、平均震度(平均震度)と、震度計の観測結果に基づいて算出された震度(震度計)に分けて10段階(震度1～震度7)に分類しています。また、気象庁が発表する震度は、震元と観測地点の距離が10km以内の観測地点での観測結果に基づいて算出されています。震元と観測地点の距離が10kmを超えると、震度の観測結果が正確でなくなるため、震度の観測結果に基づいて算出された震度は、震元と観測地点の距離が10km以内の観測地点での観測結果に基づいて算出されています。

震度階級	人間	屋外の状況	屋外の状況	水運船舶
震度1	大抵無感(震度計)			
震度2	震動(震度計)			
震度3	震動(震度計)			
震度4	震動(震度計)			
震度5	震動(震度計)			
震度6	震動(震度計)			
震度7	震動(震度計)			

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図5000(地図画像)及び数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平19粉保、第980号)



#### 凡例

##### 震度

- 震度2以下
- 震度3
- 震度4
- 震度5弱
- 震度5強
- 震度6弱
- 震度6強(1)
- 震度6強(2)
- 震度6強(3)
- 震度6強(4)
- 震度6強(5)
- 震度7

※このマップにおいて、川・湖沼等の周りや市の境界部等々、計算上、色の塗られていない箇所があります。

<<問い合わせ先>>  
 栗原市 建設部 建築住宅課  
 TEL 0228-22-1153 FAX 0228-22-0313